

平成22年1月14日

地方銀行17行による「カーボンオフセット付きクオカード」の共同購入について ～「地銀住宅ローン共同研究会」企画第4弾～

横浜銀行(頭取 小川 是)は、「地銀住宅ローン共同研究会」に参加する地方銀行 16 行^{※1}とともにカーボンオフセット付きクオカードを共同購入し、地球温暖化防止に取り組みます。この取り組みは地銀住宅ローン共同研究会の企画として第4弾になるものです。

※1 青森銀行、関東つくば銀行、京都銀行、山陰合同銀行、滋賀銀行、静岡銀行、七十七銀行、常陽銀行、千葉銀行、西日本シティ銀行、八十二銀行、百十四銀行、みちのく銀行、宮崎銀行、武蔵野銀行、山梨中央銀行 (銀行名は五十音順)

具体的には、参加する 17 行が資金を出し合い、CO₂を合計 82.8 トン分オフセットできるクオカードを購入します。これは国民一人あたりが1日に排出するCO₂の 13,800 人分に相当します。

当行は、購入したクオカードを、平成 22 年 4 月から 9 月までの間に新たに住宅ローンをご利用になるお客さまのうち抽選で毎月 200 人、合計 1,200 人のお客さまに 1 枚ずつ配付します^{※2}。

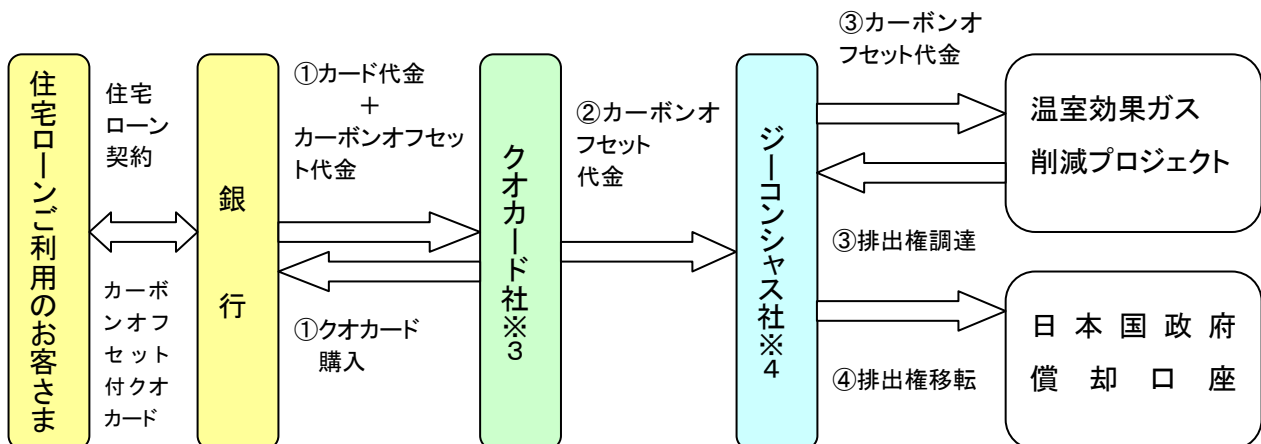
※2 平成 22 年 4 月 1 日(木)から平成 22 年 9 月 30 日(木)までに住宅ローンを新規でお借り入れされ、かつ〈はまぎん〉マイダイレクトの契約をされているお客さまが対象となります。

この取り組みにより、住宅ローンをご利用になるお客さまは、間接的に温室効果ガス削減目標に協力できます。

【カーボンオフセットとは・・・】

カーボンオフセットとは日常生活や経済活動において排出されるCO₂等の温室効果ガスに対して削減努力を行った結果、削減しきれない排出量に見合った温室効果ガス削減活動に投資することを言い、日本国内でも取り組みが拡大している環境活動です。

今回購入するクオカード1枚あたり50円をカーボンオフセットプロバイダー(個人や企業向けに、カーボンオフセットの仕組みを提供する事業を行う団体)を通じて国連が認証したCO₂削減プロジェクトの排出権購入に充て、日本政府の償却口座へ寄贈します。その結果、京都議定書で定められたCO₂削減目標に貢献することになります。



※3 クオカード社:株式会社CSKホールディングス(東証1部上場)100%子会社。

※4 ジーコンシャス社:カーボンオフセットの普及・促進に貢献しているカーボンオフセットプロバイダー。

以上